

決算特別委員会
審査報告



以下の事項については十分考慮して予算編成に努めるように求める。

固定資産税について

太陽光発電施設の大規模施設による増収が今後も見込まれるということであるが、市内民間事業者の設備投資も分析し増収に努めること。

ゴルフ場利用税交付金について

ゴルフを含むスポーツの振興や観光振興等に交付金の一部を還元しながら、財源の確保に努めること。



保育所入所保護者負担金について

公平性の観点から、税と同じく延滞金・督促料等、法に基づき徴収対策を行うこと。



地域おこし協力隊について

隊員が活動しやすい環境整備が必要であり、隊員の定着に繋がるよう行政としてサポートを行うこと。

農業振興について

市独自の農産物や人材育成などを組み入れ、中・長期の計画を策定し進めること。

商工会について

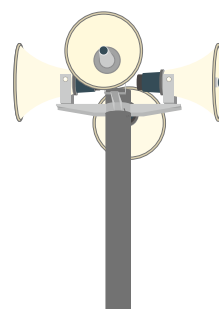
補助金が県内で一番低い状況となっており、地場企業の活性化のため、市の補助金要綱の内容を見直すこと。

公共インフラについて

既存の側溝等が老朽化しており、長寿命化計画を策定し、整備・維持管理を進めていくこと。

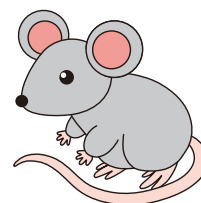
防災行政無線について

幅広い活用の検討を行うことや、聞こえづらい地域もあることから、自主防災組織のメンバーに防災メー登録の周知も併せて行うこと。



学校施設のネズミ等の駆除について

保健衛生面からも東部校と西深校も実施すること。

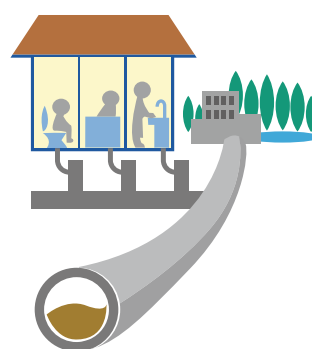


土地区画整理事業について

事業変更に伴う地元説明会や計画除外予定地の地権者への新たな事業での交渉など丁寧な対応を行い、早期に事業終結を行うこと。

污水处理について

使用料については、公平性の観点を考慮しながら見直しを行い長寿命化計画を策定し対応するほか、下水道の接続率の向上に努めること。



総括

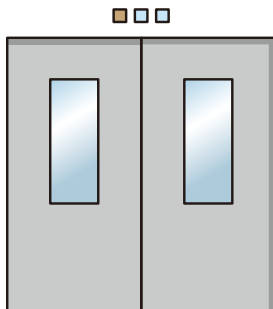
経常収支比率が99・5%（前年度96・9%）と高く、自主財源比率（27・5%）も低水準で推移しており、限られた財源を効率的かつ効果的に活用すること。

決算特別委員会
現地踏査



総務文教分科会

- ・東原庁舎西深校遊具更新工事（仮称）
- ・多久市消防署多久南西出張所建設・造成工事
- ・東原庁舎東部校エレベーター設置工事



総務文教分科会

- ・児童センターあじさい運営事業
- ・土地区画整理事業の進捗状況



決算特別委員会を終えて

市の予算が適正に目的どおり執行されたのかを審査し、翌年度の予算編成や将来の財政計画に反映するという重要な役割を担っています。

そのため、議会運営委員会では、議会改革の一環として、今年度から決算審査の見直しを行い、より専門的に議論することになりました。変更点としては、これまで各常任委員会から選出された8名で構成していた決算特別委員会を、所管する項目を常任委員会毎に分科会を設置し、議会選出の監査委員を除く全議員で審査する体制としました。

審査の過程で出された意見については、十分考慮したうえで、今後の予算編成に努めるように意見を付け、決算特別委員会審査報告としています。

議会閉会后、議員全員で新しい決算審査について意見交換を行い、「分科会ではこれまで以上に



深い審議ができた」、「全ての議案を全議員で取り組んで審査したことが良かった」等の意見が出され、全議員が参加することで議会の活性化、議会意思の形成、そして反映に繋がっていくことを実感しました。



地方分権の進展により「議会の果たすべき役割」は、ますます大きくなっています。今後も議会運営委員会では議会機能の強化・活性化の取り組みを継続的に行っていきます。

議会特別運営委員長